

国の公費 1兆円の投入で国民健康保険料の引き下げを！

県の示した標準保険料率で計算すると約6万3000円の負担増

熊本市の国民健康保険料は、政令市の中で最も負担の重い水準となっています。

国保の都道府県化により、国保料については、県から示された標準保険料率をもとに、それぞれの市町村が保険料率を決定しています。県からは、今年度の標準保

険料率が示されました。これをもとに計算すると、モデル世帯で（両親・子ども2人・所得200万円）は、年間約6万3000円も負担が増えることとなります。

現在でも負担の重い国保料のさらなる値上げは許されません。

現在の熊本市の保険料率 モデル世帯（両親・子ども2人・所得200万円）の保険料 40万5015円

平成31年度	医療分	後期支援分	介護分（40～64歳の方）
所得割	（基準総所得金額の） 8.34%	（基準総所得金額の） 2.27%	（40～64歳の方の基準総所得金額の） 2.04%
均等割	1人につき35,100円	1人につき9,600円	1人につき15,400円
平等割	1世帯につき25,600円	1世帯につき7,000円	—

県から示された標準保険料率 モデル世帯（両親・子ども2人・所得200万円）の保険料 46万8354円

平成31年度	医療分	後期支援分	介護分（40～64歳の方）
所得割	（基準総所得金額の） 9.74%	（基準総所得金額の） 2.82%	（40～64歳の方の基準総所得金額の） 2.21%
均等割	1人につき31,297円	1人につき9,379円	1人につき14,571円
平等割	1世帯につき22,978円	1世帯につき6,887円	—

現在 40万5015円 ⇒ 県標準保険料 46万8354円 約6万3000円の負担増

均等割の廃止で保険料の引き下げを！

制度上の問題によって保険料が高くなっている国保の矛盾を解決するために全国知事会は、国に対して公費1兆円を投入し、保険料の引き下げを行うよう求めています。

日本共産党も、国による1兆円の公費負担増で、子どもにまでかかる均等割りをな

くすなど国保料を引き下げること求めています。これが実現すれば、前述のモデル世帯では、40万5015円の保険料を、19万5415円に引き下げることができます。



子どもにかかる保険料の負担軽減を！

国保料には、一人あたりにかかる保険料（均等割）があり、子どもが一人生まれれば保険料が4万4700円上がる仕組みがあります。

収入のない子どもにかかる保険料については、全国の自治体で独自の減免制度が実施されています。

熊本市においても独自の減免制度を実施すべきです。

～仙台市の減免制度～
子どもの保険料3割減免

仙台市では、子ども（18歳まで）にかかる保険料（均等割）を3割減免する独自の減免制度を実施しています。

熊本市において、同制度を実施するために必要な予算は約2億円です。

新たな議会がスタート

許されない！ 質問時間の短縮

5月10日に開かれた臨時議会に先立つ会派代表者会議において、「熊本市議会予算決算委員会運営要綱」の一部が改正され、予算決算委員会における少数会派の質疑時間が短縮されました。

十分な論議も、意見聴取もしないで質問時間を短縮

新メンバーでの最初の議会も開かれておらず、議会運営委員会すら選任されていない中、議会運営の重要な内容を拙速に決めるべきではありません。

議会運営についての内容変更は、新たな議会がスタートした後、各議員からの十分な意見聴取を行い、十分な論議を経て検討・決定すべきものです。

少数会派の意見切り捨ては、議会本来のあり方に逆行

変更内容は、

【総括質疑】

(現行) 会派人数×5分+10分



(改正後) 会派人数×5分

【締めくくり質疑】

(現行) 1会派につき15分



(改正後) 会派人数×5分

*いずれの質疑も、少数会派の発言が短縮され、1人会派の場合にはわずか5分です。

言論の府である議会は、決定するまでの過程で、時間をかけ十分な議論を行うとともに、少数意見を尊重することは民主主義の実現に欠かせません。

今回の少数会派の発言時間短縮、少数意見の切り捨ては、言論の府としての議会本来のあり方に逆行するものです。

常任委員会・特別委員会・審議会等の所属決まる

【市議会常任委員会】

厚生委員会

なすまどか議員

健康福祉局(国民健康保険・介護保険・障がい者福祉・生活保護・子育てなど)と市民病院事業について審議します。

教育・市民委員会

上野みえこ議員

教育委員会(学校教育・育成クラブ・図書館・博物館等)や市民局(地域活動・生涯学習・男女共同参画・人権等)について審議。

【市議会特別委員会】

庁舎整備に関する

特別委員会

上野みえこ議員

建設費だけでも450億円もかかる市役所本庁舎の建替え問題(求められる機能とあり方)についての調査・検討を行います。

【各種審議会】

町界町名審議会

なすまどか議員

地籍調査や町名・町界の変更等に係る審議。

*議員全員で構成される予算決算委員会には、上野みえこ議員・なすまどか議員両名が参加します。

【控室から】 9条改憲は許さない！

上野 みえこ



今年の憲法記念日は、機会あって東京で開かれた「平和といのちと人権を！ 5・3憲法集会」の中央集会に参加することができました。快晴の空の下、会場となった東京臨海広域防災公園には6万5000人が集い、人・人・人でいっぱいでした。野党党首のあいさつ、各分野の方々の連帯のあいさつ、若い人から高齢者まで、「安倍政権の改憲を許さない」の思いがあらわれていました。一方で、安倍首相は改憲を強行するメッセージを発信しました。改めて、憲法9条2項の後に「自衛の措置・自衛隊」を明記し、1項・2項を死文化させる危険な改憲を絶対に許すことはできない、思いを新たにしました。いよいよ国の政治の在り方が問われる参院選も近づいてきています。消費税10%への増税中止、8時間働けば普通に暮らせる社会へ、国民健康保険料引き下げなど社会保障の充実、安心の子育て・教育、そして9条改憲は許さない、市民のいのち・暮らし・平和を守る大切な争点です。しっかりと訴え、頑張っていきたいと思えます。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1140
2019年5月19日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団

検索

